

ジャノメチョウの生活②初夏～夏（蛹・成虫）

ジャノメチョウは、生態図鑑によれば、「**個体数のピークは北海道から九州にかけてほとんど差がなく**」、北海道でも7月中旬には発生が始まります。

蛹は「懸垂器は退化」し、「**地中**や地上にころがって」みつかるという特徴を持っています。

成虫は明るい草原を好み、多くの花を訪れ吸蜜を行います。

また、産卵は植物に直接産みつけるのではなく、空間に放卵するという特殊な方法で行われます。

16/7/8・15・18: 蛹探し

六月までの夜間観察で幼虫が見られた箇所をチェック、その場所を中心に蛹を探してみた。



7/8ピンクは幼虫がいた場所。
ようやく草を刈った。

土を掘って蛹を探すため、昼間の時間を使うのは、この時期もつたいない。一通り別の取り組みを行った後になり、早くても17:30開始。真っ暗な中21時過ぎ終了の時も...

7/15一週間後なので、刈り取った草が茶色に。地面もかなり見ることができた。

7/8かなり喜んだが、蛾の様だ。



①草刈りをしてから、土の表面を少しずつ削りながら探るが、根が張っていて削るのが大変。

②シャベルで行うが、思いの外、土が硬かった。

③当初は地道にやっていたが、途中からは上の様にスコップを持ち出し、ブルーシートに入れて確認していった。

結論: **見つからなかった**。蛹化の際、もっと移動するのか? こんな硬い土では潜れるか? 「根が重なっている空間」のある場所、ないことはないが... 難しい!!

17/7/15・16: 蛹探し

前年敗退で、道路の法面フィールドで再チャレンジ。

7/13(19:10～20:00) 新千歳に夜到着。せつかなので「**幼虫がいないことを確認**」に観察。当然のことながら一頭も見ることができなかった。

①7/15(17:10～19:45)

草刈りをして、土の表面を手でこすりながら探す、何も見つからず。↓



②7/16(5:00～9:30) **蛹見つからず!** 9時過ぎから雨が降り始め、最後はあきらめた。スコップで土を掘るが、根が張っていて難しい。表面をシャベルでこすり、指で土をどけながら、探した。☆途中「これは!!?」ということが二回あった。



③6:30頃。土に穴があり、その中に蛹↑
状況等を数十枚撮影してから取り出すと…
思ったより小さく、尾端もとがっている。

④7:30頃。草の根が張る土の塊をどけると、大型の蛹→
「これは絶対!!」と思ったが、時間を経て良く見ると違うようだ…

最終的に2.2×1.6mほど植物を刈り、土を手ではがしてみたが見つからなかった。

しかし、二つの蛾?の蛹を掘り出した感触だと、

「幼虫がいたこの斜面に蛹があるなら、あのよう土の中に空間があり、そこにいるのだろう」という根拠のない感覚&確信を得た…。

前年同様**敗退!**。摂食場所から移動!? 法面上部の道路脇を触ると、ややフワフワ。もしかしてここなら、とも(笑)



18/11/6 美々：幼虫探し(のはずだったが)

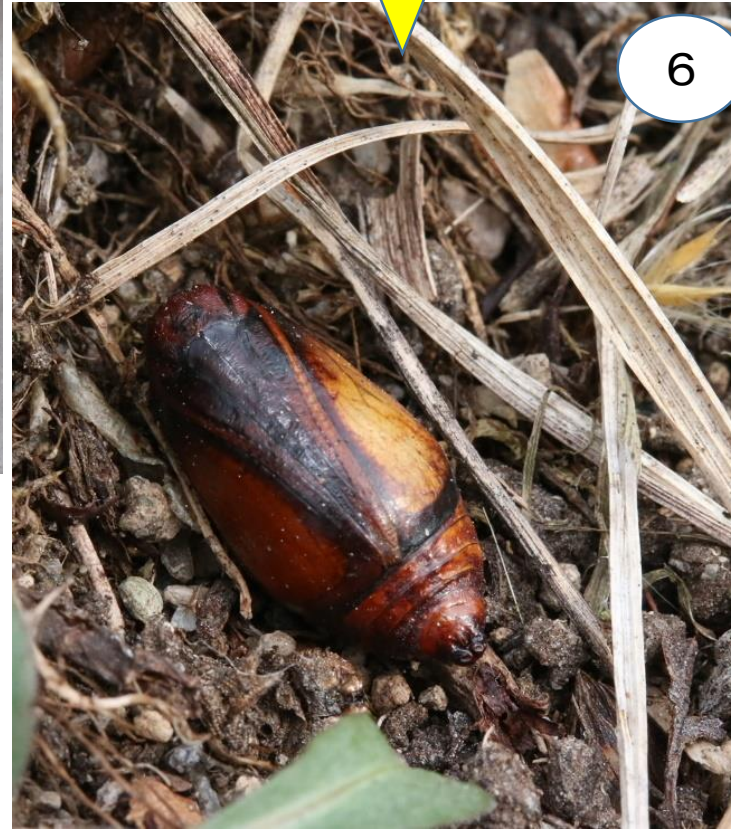


草を刈られて、こんなに明るい斜面に
①みたいなものが
②近寄ってみると枯れ草の下に蛹らしきものが
③周りをよけると、確かに何かの蛹。
ジャノメの蛹だ！この時期に？
④よく見ると左右の色が違う。死亡後、太陽に当たった面が明るい様だ。

⑤開放的な空間に、
地面の上に転がっている
⑥こちらもやはり左右の色
が異なる



(フィールド写真とは左右逆の写真↑)
ジャノメ二つの蛹！ 横向き・上向きで地面に転がっていた。
一昨年から継続で探したが未発見・・・
まさか幼虫探索中に発見とは予想外。
地面の表面にいて、草を刈られて乾燥して死亡か？ 大きさは♂♀の差異？



ひよんなことから、野外で蛹を発見することができた。

ただ、両個体とも死亡していた。草刈りが行われて直射日光を浴び死んでしまったのかもしれない。大きさが異なるのは♂♀か？

幼虫の見られる斜面で発見できたので、少なくとも同じ場所で蛹化がされていたことはわかった。ただ異なる場所に移動しての蛹化もあるのかもしれない。

もう少し、土の中に潜る？（永盛氏の飼育下では完璧に土中とのこと）

もう一度、「生きている蛹」を探してみたいとは思っています。

次は成虫の様子を見てみます。

成虫訪花

成虫は多くの植物で吸蜜します。その一部を。



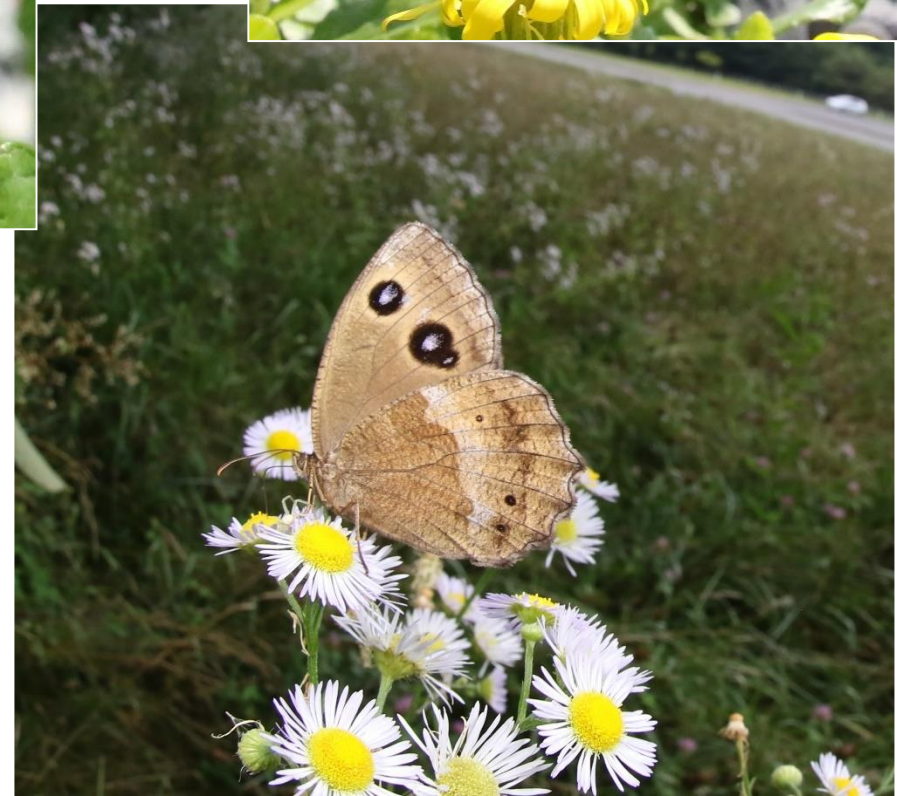
←16/8/10
千歳市
♂
セイタカアワダチソウ



17/8/2
奥尻島→
♂
エゾオグルマ



↑ ♂ヤブカラシ
17/8/4上ノ国町
← ♀ノラニンジン



← ♀オオイタドリ 19/8/8洞爺湖町 ♀ヒメジョオン→

交尾 ジャノメチョウの交尾は割と頻繁に見ることができる。

17/8/8厚真町:7:41~13:32



厚真での交尾目撃、
ほぼ6時間に及んだ。

交尾終了まで観察し
ようとしたが、ずっと
続き、最後はあきらめ
てその場所を離れた。

ジャノメの交尾が長時
間なのは一般的なの
だろうか・・・？

☆右も含め♀が飛翔
の様で、何回も飛び
立つと、後半明らかに
♀は疲れていた！ やはり大型の蝶だ

上ノ国で、天候が
良くなってジャノメ
の交尾を見ることが
できた。

この時は複数の
交尾ペアを見ることが
できた。

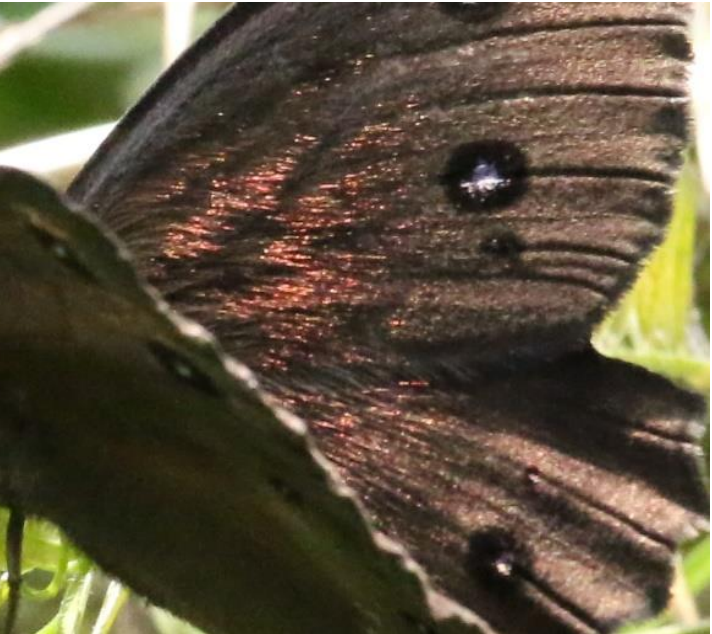
天候が良くなって
から交尾したのか、
交尾済みだったもの
が発見できなかったのか？

19/8/17上ノ国

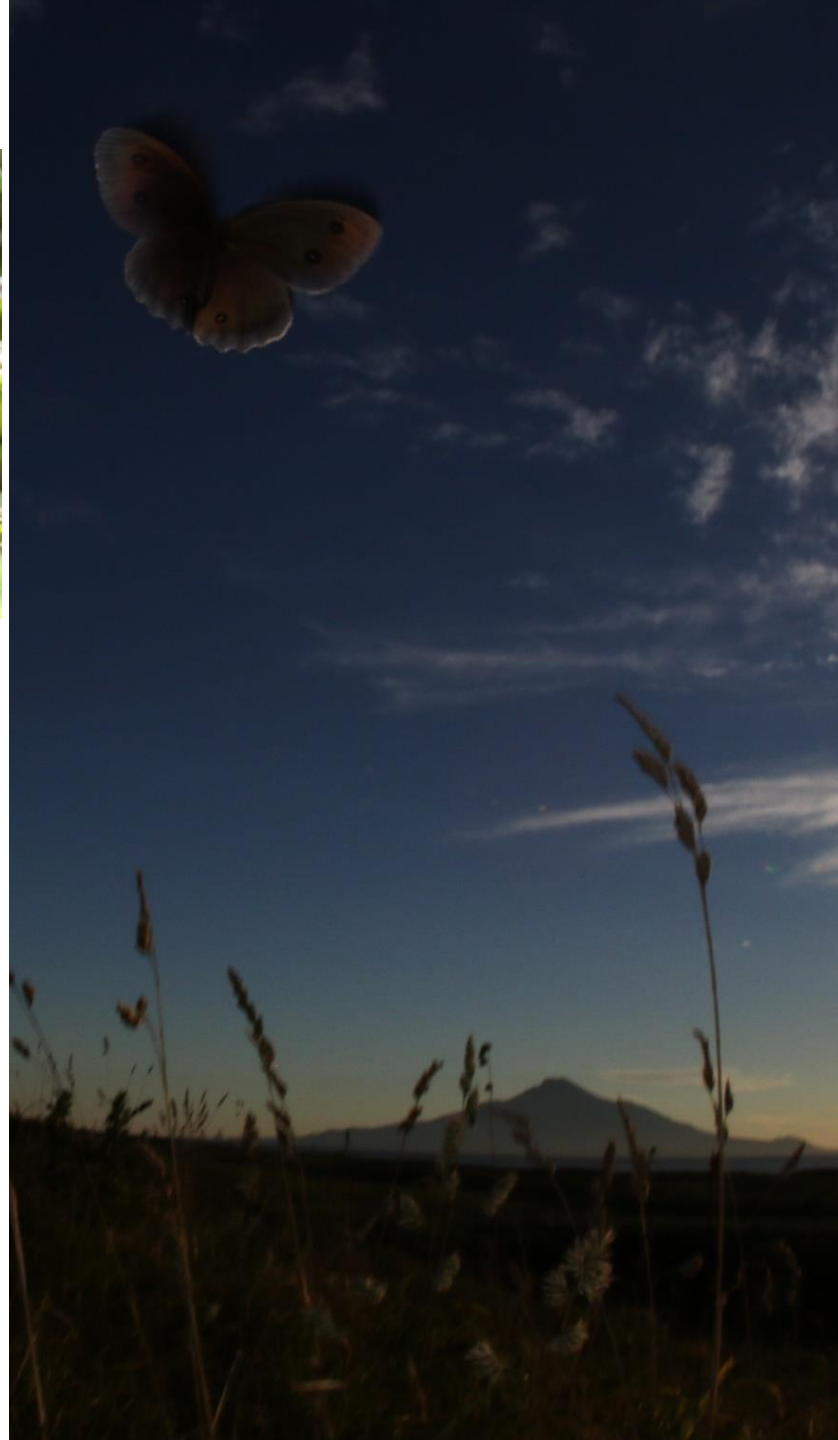


その他

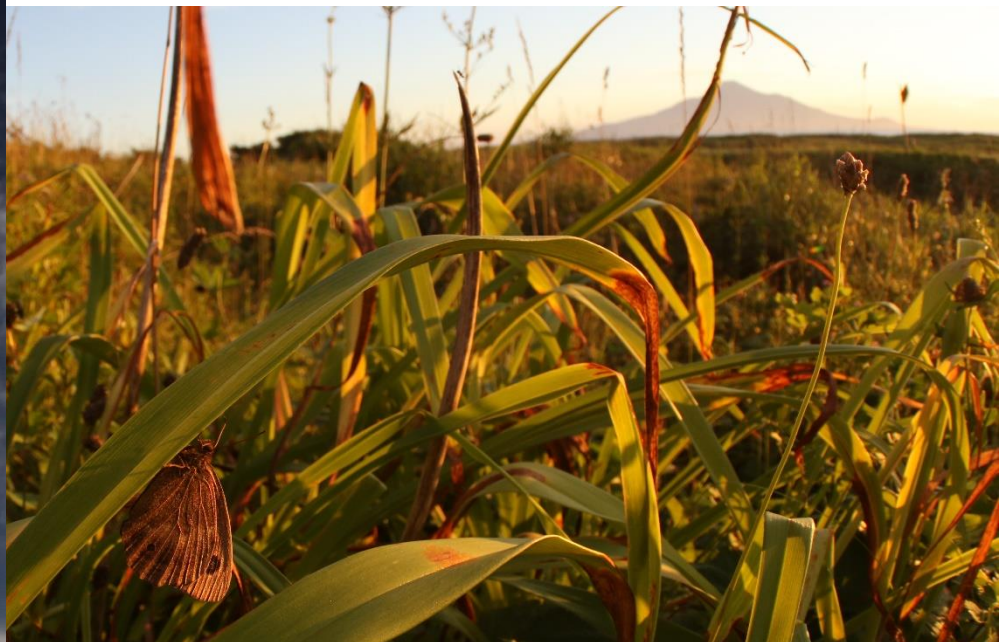
17/8/2 奥尻 ジャノメが多かった



ジャノメを撮影していると、ふと赤い毛に気がついた。光の関係か、今まで気がつかなかったし、見たこともなかったように感じた。



16/8/5 稚内 ジャノメが多いポイントがあったので、利尻島をバックに撮影したい！・・・と日暮れだったが再挑戦(笑)



←18:27うす暗い中、草原に踏み込むと飛び出す(後ろに利尻島)

↑ 18:38 植物の葉裏に静止

18:53 暗くなってから飛び立つと、割とすぐブッシュに入り、このように植物に静止 → → → → →

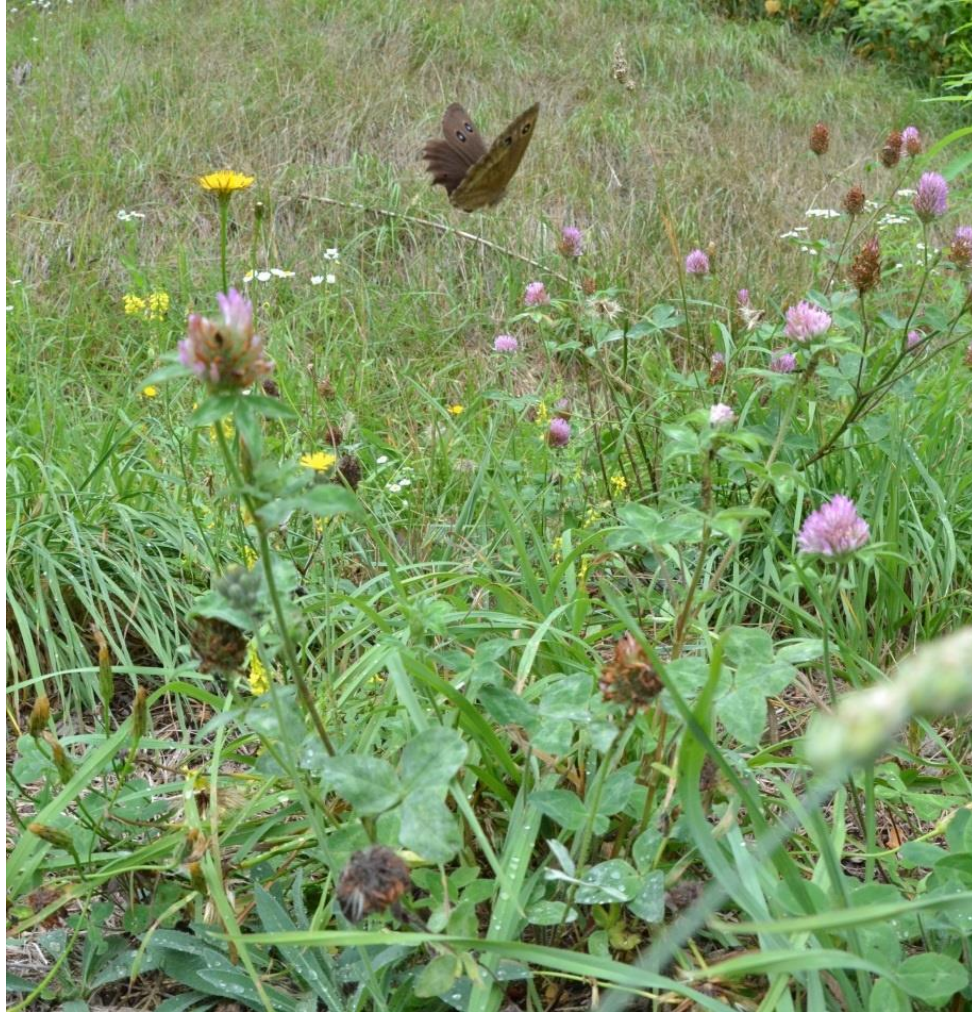
草原に踏み込みジャノメが飛ぶと、このような姿勢で植物の下に静止することが多く、避難？休息？就寝？の様に感じた。
(上・右写真)



ジャノメチョウの産卵(永盛氏作)

2019/7/27札幌市

札幌市のエノキがたくさん植えこんである公園。兄がオオムラサキの観察を行っていたポイントに行ってみた。目当てのオオムラサキの産卵は見られず、生き残りの雄がときどき旋回するくらい。その辺の蝶をカメラハンティング。ジャノメが多く、よく見ると産卵しそうなのでしばらく追いかけた。



ふわふわ小刻みに翅を羽ばたかせながら、一匹の♀が鉄の柵の下のイネ科にぶら下がった。広角レンズだけどまあいいか、ファインダーごしに寄ってみると。これは怪しい、と思う間もなく腹を少し曲げる。と、そのとたん卵が確かに落下！飛び去った。「どこだどこだ、卵はどこだ」と、近づいて覗き込む。あった。はじめて見たジャノメの放卵に感動する。



少し▲に見える
ジャノメの卵だ！



これも、産卵だな、と別の♀を追いかけると、草むらに止まりまた腹をヒクヒクする。あれ！腹をピッツと動かすと卵が少し飛んだぞ。こういう産み方もあるのかいな？卵はどこだ？ありました。もう一回産卵は見たけど写真に撮れたのはこの2回でした。2匹とも新鮮な個体でした。11時29分から40分までの出来事でした。



おまけ(つじ)



17/7/16美々: 蛹さがしの途中でジャノメ成虫が
シャツの汗?を吸汁



19/8/8洞爺湖

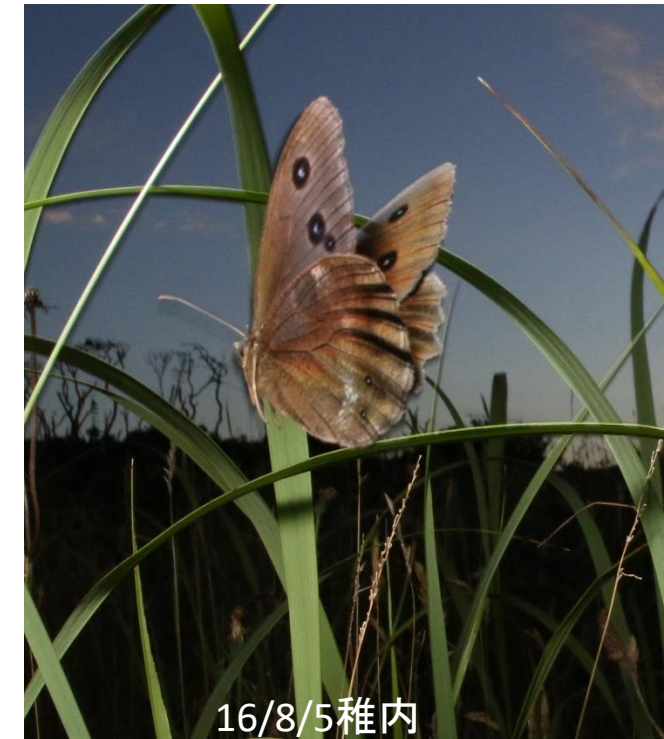
飛翔四態



16/8/10美々



18/8/5苫小牧



16/8/5稚内